

## 國學院大學 経済学部

経済学部には経済学科、経済ネットワーク学科、経営学科の3学科を設置。将来の進路に応じて、経済・経営・会計・環境・福祉・情報などの各分野の学問を学科の垣根を越えて学び、社会に貢献できる専門的教養人の育成を目指します。



■大学生  
武藤秀典さん



■先生  
橋元秀一先生



■卒業生  
村瀬良介さん

### CONTENTS

- プロフィール
- 大学生活について
- 就職活動、仕事について
- 5年後に向けて
- 高校生へのアドバイス

#### ●プロフィール

國學院大學 経済学部の特色を教えてください。



■先生

文系の総合大学である國學院大學は渋谷キャンパスに4学部、横浜たまプラーザキャンパスに1学部、合計5つの学部があります。

渋谷キャンパスに設置されている経済学部は、おおまかに言えば社会における生産と消費について学ぶ学部です。とりわけ日本の経済をしっかりと把握して、社会に有意な基礎力を持った経済人を育てていこうという狙いがあります。

学部共通科目の必修科目「日本の経済」では、「GDPとは？」から始まり経済学、経営学を含めた主要分野の基礎を学び、その後のステップは、学生自身が興味・関心に合わせてより深く学べるようにカリキュラムが組まれています。また、経済学部全学科で、ネイティブによる英語の授業を実施していることも大きな特長です。英語で話す、コミュニケーションするスキルを身につけ、国際社会で活躍できる人材を育成します。

## 経済学部 3 学科ではどのようなことが学べますか？

### ■先生

経済学科では、基本的には生産と消費が社会的にどのように担われているかを、経済学の理論的な発展を踏まえながら学びます。企業活動や産業活動に焦点をあてて、具体的な生産と消費の活動をミクロ的な視点から分析していきます。経済学科には、現在の社会・経済がどのようなしくみによってできているのかを学ぶ「経済の歴史と理論コース」、戦後から現代までの日本経済の変化や課題について、産業構造や金融・財政・労働・環境などの政策を切り口として学ぶ「日本の経済システムと政策コース」、日本経済について、あらゆる分野でグローバルな視点から諸外国との関係を捉え、考察する「グローバル経済コース」の3コースを設置し、3年次進級時に選択します。

経済ネットワーク学科では、経済に密接に結びつく環境問題や少子高齢化、経済格差の拡大など様々な社会問題を経済の視点から学び、今、世界や日本が直面している様々な問題には、どのような解決策が必要かを考えていきます。経済史などを踏まえて理論的に問題を考えるというよりも、現場に飛び込んで何が起きているかを自ら探り、自分自身の力で問題を調べ、解決策を考えるための知識や技術を学ぶ実践的な教育を重視しています。経済ネットワーク学科には、地球という有限の資源の中でどのように共生し、地球環境と調和した持続的発展をいかに実現していくのかをテーマに学ぶ「地球環境と開発コース」と、経済の地域間格差や過疎化・高齢化の問題などを地域の視点から捉え、いかに問題を解決し、住みよい地域づくりを実現していくのかをテーマに学ぶ「地域づくりと福祉コース」、情報リテラシーを基礎とする高度な情報スキルの習得を目指す「情報メディアコース」の3コースを設置し、3年次進級時に選択します。

経営学科は、経済学部の中で経営・会計領域を学ぶ学科です。様々な組織を運営するためのヒト、モノ、カネをどのように集め、活用していくかなど経営学の基礎を学ぶ「マネジメントコース」と、組織の財政状態や経営成績などを数値にして示す会計について学ぶ「会計情報コース」を設置し、3年次進級時に選択します。私たちは、かねてから経済学部の中で経営学を学ぶことの重要性を強調してきました。生産と消費という経済の循環を理解した上で、ミクロ的な分析手法を取り入れることが経営という視点にはとても大事です。カリキュラムでは、マクロ的な経済からミクロ的な経営へ学びが深められるように授業内容を工夫しています。

## ●大学生活について

### 現在、どんなことを学んでいますか？

#### ■大学生

ゼミナールでの研究が主になります。2年生の9月にゼミナールに入って3月にはテーマを設定し、その後はずっと卒業論文の制作に時間を費やしています。皆の前で「これをやります！」とテーマを宣言して、先輩からの厳しい指導を受けながら進めていきます（笑）。

#### ■先生

私のゼミナールでは、2年生の最後のスプリングセミナーでテーマを設定して、2年間をかけて卒業論文をまとめます。その後、3年生の夏合宿で中間発表、春合宿と続いて4年生で提出します。

#### ■大学生

私の研究テーマは「関東地方への高速道路による経済・産業への影響と今後の展望」です。当初は関東地方だけでなく日本全体を対象にしていたのですが、先輩から、それでは調査対象が広すぎて現実的ではないとアドバイスをいただき、最終的に関東地方に落ち着きました。



高速道路の敷設により、ショッピングモールの商圈が広がる、工業団地が内陸部に造られるようになるなど、具体的な経済効果の波及について研究しています。

私の生まれ育った茨城県は、同じ北関東に位置する栃木県や群馬県に比べて高速道路があまり発達していないという印象があり、このテーマにとっても興味があります。

#### ■先生

関東圏では圏央道と外環道がつながり、延伸が続いています。武藤さんには、茨城県がその流れから取り残されているのではないかという問題意識があったようですね。

### 大学受験にあたり、周囲からアドバイスはありましたか？

#### ■卒業生

周囲からのアドバイスは特にありませんでした。私は、國學院大学の付属高校に通っていたこともあり、興味を持っていた経営について学ぼうと國學院大学の経営学科に進学しました。経営に興味を持っていたとはいえ、大学入学後、経営学科で“何を学ぶか”がとても大切なことだと感じていました。



#### ■大学生

私の出身高校は国公立大学への進学者が多く、私自身も合格していた地方の国公立大学に進学するか悩みました。しかし、経済を学ぶためには都会の生活を経験することも勉強の一つだと考えが変わり、最終的には國學院大学への進学を決めました。経済ネットワーク学科では、現代社会が抱える様々な問題について経済の視点から学ぶことができ、フィールドワークなどの実践的に学べる機会が多いところが魅力でした。この学科であれば多くの知識や経験を得て、将来的には、公務員として学んだことを地元に戻元する道も考えられると思っていました。

### 大学生生活について教えてください。

#### ■卒業生

國學院大学に限らないとは思いますが、大学は“自分で学ぼうとしなければ何も学べない”環境です。高校生までの勉強とは違い、自分自身で学びたい科目を選択しカリキュラムを組み立てることにとっても新鮮さを感じました。

また、社会人の方との交流の場がほしいと思い、趣味で乗っていたバイクのツーリングサークルを立ち上げ、いろいろなお話をさせていただいたのもよい思い出です。

#### ■先生

國學院大学経済学部は各学科の垣根が低く、学部内のどの学科の授業も履修できるという特長があります。このシステムについては、二人はどう感じていましたか。

#### ■卒業生

それは、大きなメリットだと思います。しかし、新入生にとっては、あまり意識しない部分なのかもしれませんね。私の場合はとにかく経営のことが学べる経営学科という認識で入学したので、このカリキュラムの特長については意識していませんでした（笑）。

#### ■先生

英語の授業を例にとってみても、他学部は必ずしもネイティブ教員ではないことを知って初めて「すべてネイティブ教員による授業は経済学部だけなんだ」と思うのでしょうか。

#### ■大学生

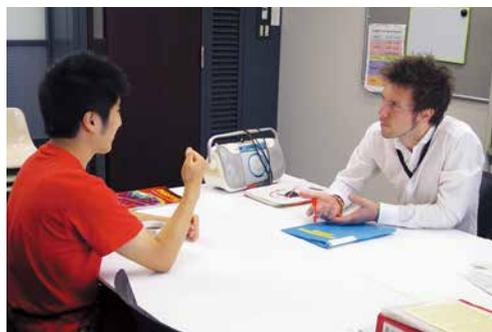
私は大学と言えば、階段状の大教室の机で大勢の学生が授業を受けるという風景が浮かんでいま

た。國學院大學では入学後すぐに「基礎演習」という授業があり、人前での発表の仕方や立ち居振る舞い、レジュメや書類の作成方法といったことを勉強します。グループワーク形式の授業は少人数で、先生と学生の距離が近いのが意外でした。高校の授業より密接なコミュニケーションがとれると感じました。

#### ■先生

そうですね。私が担当している授業の定員は23名ですし、英語の授業でいえば30名前後が基準になっています。経済学部は、人数的には1つの講義の規模は大きいほうでしょう。しかし、スキルをしっかりと身につけさせる基礎演習や英語のような授業は、すべて少人数制を導入しています。

経済学部がネイティブの教員による少人数制の英語の授業をスタートさせたのも、大勢の授業では英語を操



るレベルまで到達できない、また、外国人に対する心理的な抵抗感をなくするためには、日常的にコミュニケーションできる場が必要だという考えからなのです。

### 印象に残った授業や学生について教えてください。

#### ■大学生

國學院大學には「総合講座」という授業があり、様々な分野の専門家から話を聞く機会があります。誰でも聴講が可能でそのテーマは「労使関係」「職場のセクハラ」「中間管理職」と幅広く、貴重な時間になります。

#### ■先生

社会人になるにあたり、少しでも社会の実状を理解してほしいという気持ちから、学外からお招きして経験談などをお話していただきます。

#### ■卒業生

一つ上の先輩が印象的でした。バイタリティーにあふれた先輩で、経済学部を横断する委員会を組織したり、様々なイベントを開催したりと、縦横無尽のその行動力が私にとってとても刺激になりました。

#### ■先生

やりたいことがあれば積極的に行動を起こす、という良い参考になったのでしょうか。

### 橋元ゼミについて教えてください。

#### ■大学生

橋元ゼミのスケジュール表は、私が先生と協議して作りました。ゼミ長を任されていますが、働いているのかというくらいに仕事量が多いです（笑）。

ゼミナールでは、日本経済の構造や企業経営と雇用の特長といったテーマに沿ってディベートやディスカッションを行います。副ゼミ長の協力も得ながら、チーム割りやテーマを決めます。そのほか、経済関連のテレビ番組などを視聴して行う、リアルタイムの経済の流れや歴史を学ぶ映像学習や、社会で活躍する先輩を招いて講義を聞く「OBOG特別講義」、学生と卒業生が交流を深め、様々な話をする場となる「OB・OG会」などがあります。

私は橋元ゼミの22期生です。上には21年分の先輩方がいらっしゃるので、市議会議員、金融や不動産業界、教師、公務員などあらゆる分野の業界にネットワークがあるのが強みです。

#### ■先生

武藤さんも先輩として呼びたくなるように立派に成長してくださいね（笑）。

## ゼミナールで大切にしていることは何ですか？

### ■先生

一言で言えば思考力をつけて欲しいということです。

“なぜそうなったのか”を理解し、これから起きることを自分で考え、判断していく力を養うことを大切にしています。身につけた知識や学びは、そのために使っている道具に過ぎません。物事の成り立ちをしっかりと理解して、今後の展望に自分なりの意見を持ちなさいということです。「知識」ではなく「知恵」をつけなさい、という言い方もしています。



ゼミナールにもこの方針を反映しています。OB・OG会でも、学生の提案で懇親会の前に模擬面接を行うなど、初代のゼミ生から数えて20年以上が経過し、学生自身がゼミナールの内容や運営方針を考えられるようになりました。もちろん、最終的な責任は私にありますが、何ごととも学生同士で相談し、決定することにしています。

### ■卒業生

現在も橋元ゼミではディベートをやっていると思いますが、振り返ってみると、先生がおっしゃったように“なぜそうなったのか”を考えるゼミナールでしたね。

何事に対しても深く掘り下げていくゼミナールでしたので、本質を探る習慣や頭の整理をする習慣が身につきました。順序立てて話す、分かりやすく簡潔にまとめるといったスキルも自然に身につけていったと感じます。

仕事の場では、迅速な判断が必要となる場面はたくさんあります。ゼミナールを通して学んだこれらのスキルは役に立ちますね。

### ■大学生

私も橋元ゼミで知識を活かして、物事を考えるという習慣が身についたことはとてもプラスになりました。「知識ではなく知恵をつける」を学んでいると感じています。

## ●就職活動、仕事について

### 就職活動について教えてください。

#### ■卒業生

私は、3年生の10月から就職活動を開始して、通信業界やwebコンテンツの制作に関連する企業を30社ほど受けました。

自己分析やSPIといった就職対策は、しっかり取り組んでください。

面接は誰もが不安に感じると思いますが、場数を踏んでなれることも不安を払拭する一つの方法かもしれません。たとえ不採用になっても「面接の練習をさせてもらえた」と、前向きに考えるようにしましょう。

また、面接で話す内容は、面接官の印象に残るように工夫が必要です。私は、在学中に社会人を中心としたツーリングサークルを立ち上げたというエピソードで会話を盛り上げました。

#### ■先生

かつて在籍していたゼミ生が、就職活動を終えた後に「就職活動は自分探しの旅だ」と感想を聞かせてくれ、感動したことがあります。10人いれば、10通り。就職活動に王道というものはないですね。

## 仕事について教えてください。

### ■卒業生

Web 関連のコンテンツ事業を行う会社に勤めています。様々な業務がありますが、私はポイントサービスの販売促進の仕事をしています。

Web を介してポイントサービスを行うことは、対面で接するよりもより多くの方にアプローチすることができます。私は学生時代に靴屋で接客のアルバイトを経験し、お客様の声をダイレクトに聞くことのできる



面白さを知っていました。しかし、影響範囲や成果を見るという部分では、Web 媒体の方がさらに魅力的ですね。直接お顔を拝見することはできませんが、Web というツールを駆使することで自分の提案した企画が瞬時に反映されて、数万～数十万単位のお客様に届くことにやりがいを感じています。

### ■先生

より多くの人にサービスが届くのでその分反応も多く、また、成果が数値で表れるので達成感があるということですね。

## ● 5 年後に向けて

### 将来の夢や目標としていることは何ですか？

#### ■卒業生

大学卒業以来ずっと Web 関連の仕事に携わっていますので、その経験を活かしたサービスを作りたいです。Web 媒体は、作ってすぐにお客様に届けるというスタイルが当たり前の業界です。例えば、かつて映画のチケットは映画館に並んで座席を指定して買う物でしたが、現在は Web 上で席を確保すれば、あとは映画館に行くだけです。こうした私たちの生活の中で暮らしを一変させるような、これまでにない新しいサービスを作りたいと考えています。

#### ■大学生

大型ショッピングモールの駐車場でのアルバイトを通し、このショッピングモールが地域の経済を回しているとダイナミックさを感じることができました。

この経験がきっかけとなり、現在、不動産の管理・運営の企業への就職を目指しています。10 年後には、ランドマークになるようなビルや商業施設を取り仕切る管理者になりたいですね。そして、20～30 年先には会社経営者としてバリバリ仕事をしていきたいです。

#### ■先生

研究者になるしかないと思ってこの道を歩んできたので、その初心を実現したいと考えています。「働く人が充実した人生を歩める経済社会の創出」をテーマに、社会に貢献できる研究をいろいろな形にまとめたいですね。

私は研究者であると同時に教育者でもあります、学生に対しては、彼らの今後の人生を豊かにできるように、意味のある教育を行っていきたいです。

これまで大勢の学生を社会に送り出し、卒業生はそれぞれの立場で仕事をしています。ゼミナールで学んだことを社会で役立て、活躍しているのであれば、それだけで私としても元気がもらえます。これからも、私が良いと思うことを学生に押しつけるのではなく、その学生が持っている可能性を伸ばす教育がどれだけできるかを考えていきたいですね。

## ●高校生へのアドバイス

### 進路選択のアドバイスをいただけますか？

#### ■卒業生

どんどん旅行をしてください。私は大学4年生で初めて海外旅行を経験しましたが、それまでもっと旅行をしておけばよかったと少し後悔しました。旅行といっても、近くの風光明媚な場所に写真を撮りにいくなど、ラフな旅行でいいのです。出かけることで様々なことに出会い、気づきや発見があります。こうした経験は、大学での学びやその後の人生に大いに役立つものとなるはずですよ。



#### ■先生

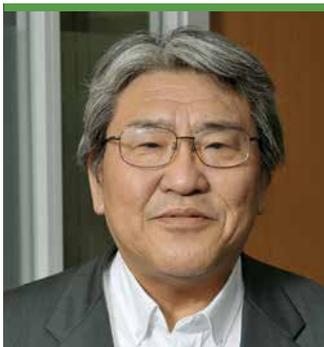
学習において大切なことは、暗記するのではなく“理解”することです。理解すれば自然に必要なことを学んでいるものです。また、どの大学で学ぶのかというよりも、入学後、大学で何をやるかを重視してください。どの大学でも、そこで自分が何を目標に学ぶのかがはっきりしていなければ、漠然と無駄な4年間を過ごしてしまうことになります。

### 経済学部を目指す高校生へメッセージをお願いします。

#### ■先生

國學院大学の経済学部は、少人数教育を重視しています。学生同士、また先生と学生との距離の近いコミュニケーションの中で、じっくりと興味・関心のある学びを深めることができます。4年間を自分と向き合い、学ぶことの喜びを感じながら成長していきたいという高校生の皆さん、ぜひ、國學院大学に入学してください。

## ●インタビューに答えていただいた方々●



■先生

### 橋元秀一先生

國學院大學経済学部 教授

鹿児島県立鶴丸高等学校出身。横浜国立大学経済学部卒業。東京大学大学院経済学研究科第二種博士課程単位取得修了。東京都立労働研究所主任研究員、日本学術振興会特別研究員、財団法人労働科学研究所主任研究員、國學院大學経済学部専任講師、同助教授を経て現職。



■卒業生

### 村瀬良介さん

web コンテンツ制作会社勤務 (2016 年取材当時)

私立國學院高等学校出身。國學院大學経済学部経営学科卒業。現在は web 媒体に関わるサービス企業に勤務。橋元ゼミでの学び、過去の業務経験を活かしながら、より斬新で喜ばれる顧客サービス創造を目指している。



■大学生

### 武藤秀典さん

國學院大學経済学部経済ネットワークキング学科 4 年生 (2016 年取材当時)

茨城県立緑岡高等学校出身。橋元ゼミではゼミ長として、年間スケジュールの策定から実行までに奮闘中。入学当初は、公務員として活躍することを目指していたが、経済学部の多彩な学問に触れ、様々な経験をすることで不動産業界への就職を志望するように。